

すずきぎんじろう
鈴木銀次郎

vol.4



「当たり前なことが特別なこと」

日々、忙しく生活していると“そこにあるもの”に気付けなくなることがあります。

生活していける収入がある仕事、ふかふかのベッド、お湯の出るシャワー、一緒に美味しいご飯を食べてくれる人、心配してくれる人、応援してくれる人…。そこにある“当たり前”はすごく特別なことで、この環境は当たり前じゃないんだと思います。



まちも同じです。

駅前にある足湯、富士山の見える港、坂の無い道、空が広い夕陽、人混みの少ない道、適度な距離感にあるスーパー…

普段そこにある“当たり前”だと思っていること。

他の場所に行ったら無くなってしまいう特別なこと。

日々、忙しく生活していると忘れてしまうことの多いこの感覚。

自分の環境を考える余白の時間が大切なのかもしれません。